

支 部 通 信

日本山岳会山梨支部 第3期第10号
令和3年(2021年)6月30日

定時総会を開催

令和3年度定時総会が、4月17日(土)午後3時30分から男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合)で開催された。新型コロナウイルス感染防止のため、昨年度は会場変更・出席者数限定で行われたが、今回は広い会議室を確保し全会員に出席を呼びかけて開催された。出席者24名(正会員21名)、委任状提出者30名。1時間にわたり審議が行われた。

北原支部長はあいさつの中で、「昨年度支部長に就任したものの総会が規模縮小開催だったため会員へのあいさつができなかった。ここに改めて就任のあいさつを申しあげ、支部の活動への協力をお願いする」と述べた。その上で、「今年度も当面、新型コロナウイルスの影響が続くことが想定される。感染状況を見極め、感染防止に十分な措置を講じながら支部の活動を進めていきたい」とした。

議事では、令和2年度事業報告、令和2年度収支決算報告が原案通り承認された。理事の選任については荻原賢司理事の退任に伴い磯野澄也会員が理事の残任期間を務める案が承認された。また令和3年度事業計画案・収支予算案ともに異議なく承認された。事業計画では、「やまなし登山基礎講座」が、山梨学院の支援を受けることができなくなったことから会員への協力が呼びかけられ、山岳古道調査の推進についても積極的な参加が要請された。また個人情報保護法の改正により、個人情報の取り扱いに一層厳正さが求められることについて説明された。

一昨年度までは、この後懇親会が行われ親睦を深めたが、感染防止のため今回も自粛となった。出席者全員で机・椅子の消毒を行って散会した。(矢崎茂男)

令和3年度 支部山行計画を策定 多くのご参加を!

山行委員会では、今年度の山行計画を次のように策定した。感染防止・事故防止に万全を期して実施する。多くの方の参加を願う。(渡辺峯雄)

山行予定日	山行区分	山名・コース	担当	山行目的・テーマ
4月18日(日)	支部山行	茅ヶ岳	古屋寿隆	深田祭記念登山
4月29日(木)	支部山行	要害山から棚山	磯野澄也	新緑の要害山から棚山を縦走
5月16日(日)	支部山行	西沢溪谷	大澤純二	田部祭記念登山
7月11日(日)	支部山行	高峯山	池田新二郎	高原の花園をハイキング
10月17日(日)	支部山行	五里山(南峰)	古屋寿隆	木暮祭記念登山
10月9日(土) ～10日(日)	会員山行	鳳凰三山	池田新二郎	カラマツの黄葉と南アルプスの展望を味わう
10月31日(日)	会員山行	雁坂峠・雁坂嶺	荻原由美子	秩父往還古道を歩く
11月7日(日)	支部山行	釈迦ヶ岳・三方分山	渡辺峯雄	静かな山の紅葉散策
11月13日(土)	会員山行	武甲山(秩父市)	磯野澄也	日本武尊伝説を持つ山。変わり果てた山容を考証
12月12日(日)	支部山行	中之倉峠・烏帽子	渡辺峯雄	輝く富士と語りながら登る山
1月10日(月)	支部山行	竜爪山(静岡市)	磯野澄也	近くなった静岡の山を実感
2月	支部山行	雪山入門ステップ アップ講習①	小宮山千彰	冬山基礎技術の習得
3月	支部山行	雪山入門ステップ アップ講習②	小宮山千彰	冬山技術の習熟・向上

※支部山行：公募による登山、会員山行：支部員対象登山 この他に「家族登山」を検討中

支部山行報告

【第1回 雪山ステップアップ講習・入笠山】 ■実施日：令和3年1月30日（土）

■地図：2万5千図・信濃富士見 ■行程：ロープウェイ山頂駅－雪原－山頂－山頂駅

■参加者：小宮山千彰、荏原由美子、相川修、小嶋数文、鶴田輝代、鶴田陽子

7時30分、甲斐市敷島総合文化会館駐車場に集合し、2台に分乗して富士見パノラマスキー場に向かった。スキー場駐車場で身支度を整えロープウェイで山頂駅まで。さすがに上は寒い。そこから花期にはスズランが咲く雪原まで、程よく締まった雪道を歩く。

雪原を横切り適度な斜面で雪山訓練（雪訓）開始。アイゼンの付け方、歩き方、深雪でのラッセルの仕方などの説明の後、一人ずつ練習してみる。ピッケルの使い方を数種類練習し、滑落停止の基本姿勢も体験した。2時間ほど訓練を行ったのち、山頂を目指して実践歩行。部分的に雪の深い箇所もあり受講生には良い経験となる。山頂は快晴。360度のパノラマで眼前には真っ白な八ヶ岳が広がっている。しかしいつもながらこの季節の入笠山山頂は風が強い。山頂での楽しみも早々に切り上げてマナスル山荘まで下山する。山荘前の広場には犬を連れた登山者が多く、手頃な犬の雪遊びフィールドなのだろう。雪訓を行った雪原近くの道で遅い昼食をとってロープウェイ山頂駅に戻った。

短い時間であったが雪とたわむれる楽しさを味わってもらえたと思う。2年ぶりの雪山講習会。満足のいく1日であった。（小宮山千彰）

【第2回 雪山ステップアップ講習・北横岳】 ■実施日：令和3年2月20日（土）

■地図：2万5千図・蓼科 ■行程：ロープウェイ山頂駅－北横岳－縞枯山荘付近－山頂駅

■参加者：小宮山千彰、荏原由美子、相川修、小嶋数文、河野芳尚、石澤貴子、手崎喜美子、鶴田陽子
敷島総合文化会館駐車場に集合して北八ヶ岳ロープウェイ駐車場に向かったのは7時40分。2回目となる今回の講習は、登る山も訓練内容も難易度を上げた。

ロープウェイ山頂駅でアイゼンを付け身支度を整えて出発。強風の坪庭を横切り登山道に取りつく。この辺りではストックで十分である。順調に北横岳ヒュッテまで登り、ピッケルに取り換える。急登を過ぎ稜線に出ると、真っ直ぐ歩けない程の強風。何とか北横岳の北峰にたどり着き蓼科山や南八ヶ岳の雄姿に見入った。女性たちは強風下でもポーズをとって元気に写真を撮り合っている。山頂のモンスターはまだ着雪が少ない。



強風の山頂を後にして、北横岳ヒュッテまで戻り一息。樹林帯の往路を下り山頂駅を右に見送って、縞枯山荘近くの斜面に陣取った。ここで昼食をとり一休みしてから雪訓開始。今回はたっぷりの深雪である。ラッセル訓練、ピッケルの使い方、滑落停止訓練と間断なく実施。特に滑落停止では実際に前方に1回転してから停止を行ったので皆雪まみれである。それを何回も繰り返した後、白樺の木を支点にしてロープとカラビナを使った確保訓練を行う。肩確保、ムンター確保、エイトノット、クローブヒッチなど各自体験した。

じっくり雪と格闘してロープウェイで山を下った。レストランで美味しいコーヒーやケーキに舌鼓を打ちながら、ひとしきり今日の反省などに花が咲いた。今回は少しハードな講習を行ったが、技術を貪欲に習得しようという雰囲気があり、かつ笑いもあり、実に有意義な講習だった。（小宮山千彰）

【第40回 深田祭と茅ヶ岳】 ■山行日：令和3年4月18日（日） ■地図：2万5千図・茅ヶ岳

■行程：深田記念公園－女岩－山頂－尾根道－深田記念公園

■参加者：北原孝浩、小宮山稔、渡辺峯雄、渡辺秀子、小嶋数文、萩野有基子、古屋寿隆、
（碑前祭のみ参加：末木佐登子）

4月18日、『日本百名山』の著者で日本山岳会の常務理事も務めた深田久弥を偲ぶ深田祭が、本年40回を迎えた。氏が昭和46年3月に茅ヶ岳で急逝されてから50年目の特別な年でもある。

前日には韮崎市文化ホールで記念セレモニーのあと、ご子息深田林太郎氏による特別講演「父・深田久弥」と記念シンポジウム「南アルプスの魅力と With コロナ時代の登山の楽しみ方」が盛大に開催された。

当日の碑前祭は、例年と違って朝8時30分から深田記念公園で開かれ、地元関係者をはじめ、深田

の生地、石川県大聖寺町からも大勢の参加者があった。コロナ禍でもあり式典は簡素化され、代表者のあいさつの後、当支部ほかの献花と献酒だけが行われた。

その後私たちは、地元の山岳会員が案内する記念トレッキングと相前後して、9時に茅ヶ岳登山に向かった。林道を1時間ほど歩き女岩で休憩後、急登の斜面を登り稜線に出る。大勢の登山者が続く。5分ほどで深田の終焉地に小さな碑が建てられている。頂上まで15分ほどのところである。山頂は多くの登山者で賑わっている。青空のもと、甲斐駒が岳、鳳凰三山、北岳が西にそびえている。昼食後、南の尾根を下る。途中登山道から外れ、希少種オキナクサの小群生地を訪れた。防火帯道に入るとミツバツツジがいつものように陽光に輝いていた。14時、無事深田記念公園に下山した。(古屋寿隆)



【田部祭と西沢渓谷】 ■山行日：令和3年5月16日（日） ■地図：2万5千図・金峰山

■行程：道の駅「みとみ」－西沢山荘・田部重治文学碑－西沢渓谷・七ツ釜五段の滝－旧森林軌道（元トロッコ道）－ネトリ大橋－道の駅「みとみ」

■参加者：北原孝浩、大澤純二、渡辺峯雄、古屋寿隆、相川修、遠山若枝、萩野有基子、末木佐登子、小嶋数文、池田新二郎、大澤さな枝、渡辺秀子、磯野澄也、堀口丈夫
(碑前祭のみ参加：内藤順造、鈴木勝彦)

田部重治は、木暮理太郎とともに奥秩父の山や渓谷の素晴らしさを紹介したことで知られている。田部祭は、田部重治の功績を顕彰するため、西沢渓谷を抱える山梨市に山梨支部が強く働きかけて始まったものである。

小雨の中、道の駅駐車場を出発し、西沢山荘前の田部重治文学碑に向かった。ほどなく第4回田部祭式典が始まり、山梨市観光協会雨宮巧氏から田部重治の功績の紹介があった。北原支部長の碑前への献花のあと記念写真を撮った。

濡れた渓谷道はやや危険と判断し、支部山行としてはここで解散して、希望者が渓谷周回ハイキングを行った。残りはネトリ大橋までもどり、トロッコ道をさかのぼってシャクナゲなどの花の鑑賞を楽しんだ。

小雨の中、天候の回復を期待しつつ渓谷周回組は碑前を出発し、渓谷道まで下りる。足元に注意を払いながら快調に進む。二俣吊り橋では雲間から鶏冠山頂上付近が幻想的な姿を覗かせていた。透き通った清流、長い歴史の中で浸食された巨大な花崗岩、色を濃くした木々の緑、西沢の渓谷美はいつも感動をもたらす。七ツ釜五段の滝を眺める頃には、狭い天空も青い空に変わった。雨具を脱ぎ、最後の急登に汗をかいた。シャクナゲの群落を楽しみ、往路最終点に到着、気持ちの良い緑の下で、ゆっくり昼食をとった。



帰路、すっかり天気も回復し シャクナゲ、ミツバツツジの咲く中、トロッコ道を快適に歩き下山した。

花の鑑賞グループは、アズマシャクナゲ、ハクサンシャクナゲ、ミツバツツジ、ヒカゲツツジなど最盛期を過ぎたとはいえ多くの花々を楽しんだ。雨が上がり空が次第に明るくなってきたのは、少々心残りであった。(大澤純二、渡辺峯雄)

トピックス

☆第7回 やまなし登山基礎講座

平成26(2014)年に国民の祝日「山の日」が制定された。「山の日」制定記念事業として、翌年から始めた「やまなし登山基礎講座」は、今年で第7回の開催となる。昨年度までは、山梨学院生涯学習センターの全面的なバックアップのもとに実施してきたが、今年は会場確保・チラシ作成・募集事務・講座運営などすべての実務と経費を山梨支部が単独で負担することとなった。

講座は、9月7日から10月5日まで、机上講義5回(火曜日夜、ぴゅあ総合)、実践登山2回(土曜日)の構成で実施する。講座の内容は、以下のとおり。

- 第1回(9/7 火) オリエンテーション、日本山岳会について、山の天気と観天望気
 第2回(9/14 火) 安全安心登山の基本、 装備・服装・食糧
 第3回(9/21 火) 地図読み、山の自然保護
 第4回(9/25 土) 実践登山1茅ヶ岳<地図読み、ロープワークとセルフレスキュー>
 第5回(9/28 火) 山岳遭難、山の救急医療
 第6回(10/2 土) 実践登山2高川山<総合登山>
 第7回(10/5 火) 山の文学、山梨の登山史、山岳写真、修了式

講座受講生の定員は25名、8月1日から募集する。登山経験の浅い初級者、登山の基礎を学び直したい中級者で、全講座に参加できる方を対象とする。支部会員には、後日受講生募集のチラシを郵送する予定。講座に興味のある方に渡し参加を勧めていただきたい。日本山岳会山梨支部としての意義ある事業が継続開催できるよう、会員各位の協力をお願いする。(大澤純二)

☆山岳古道調査便り 【南アルプス北部古道班】

最初の南アルプス北部の山岳古道実地調査として、ドノコヤ峠ルートを選んだ。南アルプス市芦安から早川町奈良田につながる山岳古道である。メンバーは、北原孝浩・渡辺峯雄・中川恵美子・古屋寿隆の4名。5月10日に踏査を行った。

芦安第2駐車場に集合し、桃の木鉱泉から入山したが、令和元年10月の台風19号の影響もあり林道芦安線は通行止めとなっており、車は使えず歩くことになった。大堰堤までは河原に車道が整備されていたが、山道に入るとかつての直接峠に続く尾根道が無くなり、北側斜面を大幅に迂回するルートに代わっていた。延々と落ち葉と小石が敷き詰められたジグザグ道を進み、途中2か所大崩壊地の上端を足元に注意しながら、設置されたロープに導かれ、進むこと4時間余りで団子沢山南の尾根に出た。しばらくするとドノコヤ峠に到着した。この尾根道は、南アルプス市がトレイルルートとして一応整備されており、新しい立派な道標が設置してあった。このまま南下すれば唐松峠に至る。

しかし、ここは芦安側も奈良田側も両面が鋭利に崩れて切れ落ち、ゆっくり休憩することもできない。特に奈良田側は完全に崩壊しているため、古道は寸断されてしまっていた。よって今回は奈良田から入山してまずは銅鉱山跡を探し、さらに峠に繋がっているルートがあるかどうかを確認しなければならぬ。最も容易に思われたコースゆえに、先が思いやられる。往路を戻り16時下山した。(古屋寿隆)

☆令和3年度山岳レインジャー活動計画

昨年に引き続きコロナ禍ではあるが、山梨県からの委託事業として山梨県山岳連盟では山岳レインジャー活動を実施することになった。当支部では下記の予定で、県条例で特定された希少高山植物および絶滅危惧種等の調査を行う。

- 6/30～7/1 白根三山(探索調査): 広河原～嶺朋ルート～ボーコンの頭～八本歯コル～トラバース道～北岳山荘(泊)～北岳～肩ノ小屋～草すべり～白根御池～広河原
 7/15～16 甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳(探索調査): 竹宇駒ヶ岳神社～黒戸尾根～七丈小屋(泊)～甲斐駒ヶ岳～黒戸尾根～竹宇駒ヶ岳神社
 7/26～27 鳳凰三山(探索調査): 広河原～白鳳峠～高嶺～地蔵ヶ岳～賽の河原～鳳凰小屋(泊)～観音岳～薬師岳～薬師岳小屋～南御室小屋～夜叉神峠 (古屋寿隆)

理事会報告

- 4月17日 理事会 令和2年度事業報告・決算、令和3年度事業計画・予算、理事1名交代
 5月12日 理事会 当面の支部山行計画、第7回やまなし登山基礎講座案決定
 6月9日 理事会 やまなし登山基礎講座の受講生募集チラシ作成・受講生募集方法、山岳古道調査進捗状況

編集 矢崎茂男(広報担当)

住所: 408-0114 山梨県北杜市須玉町藤田502 TEL: 090-7734-2788

Eメール: yazaki-s@taupe.plala.or.jp